



広報リポーターの突撃取材!



フェスティバルで、かわいいダンスを披露する児童

感謝を表し
絆が強く

11月29日、大川目小学校の2年生16人は、日ごろお世話になっている地域の人たちを招待し、感謝状を手渡しました。児童は、感謝を表すフェスティバルも企画。ダンスの披露や、模擬店を開いて地域の人たちと交流を深め、さらに絆を強くしました。(小倉利之リポーター)



講師の指導の下、作業を進める参加者

和やか交流
しめ縄作り

高齢者講座・白樺大学の「しめ縄作り講習会」が12月16日、天神堂公民館で開かれました。市内各地区の老人クラブから53人が参加。和やかな雰囲気の中、参加者は交流・協力しながら家内安全と交通安全の2種類の正月飾りを完成させました。(梅沢政隆リポーター)

礼儀や心構えを熱血指導

市民剣道教室

市民剣道教室(市体育協会主催)は12月17日と18日、市民体育館で開催。被災地を支援しようと、NPO法人世界剣道武徳和心会(吉山満会長)が全面的に協力し、吉山会長をはじめ21人が指導にあたりました。

講師陣は、技だけでなく礼儀や心構えを熱血指導。小学生から一般まで約130人の参加者は、一つでも多く学び取ろうと、真剣な表情で稽古に励んでいました。

閉講式で吉山会長は「皆さんは今、生きています。感謝の心を持ち、毎日を大切にしていきましょう」とエール。中村海斗くん(三崎中2年)は「相手を敬うことの大切さを学びました。稽古も普段の生活も頑張っていきたいです」と力を込めていました。



講師を前に、熱のこもった稽古を繰り広げる参加者



- 1/ドタバタを展開し、会場を沸かせた一場面
- 2/ゆげさんは美声を披露
- 3/震災時の水族館の生き物たちを表現した人形劇
- 4/絶妙な掛け合いの連続
- 5/終了後は誰もが笑顔に



笑い感動届けた熱演

第5回市民おらほーる劇場

第5回市民おらほーる劇場「水族館狂詩曲(アクアリウムラプソディ)」は11月27日、おらほーるで上演。出演者とスタッフは、熱のこもった演技と演出で、約400人の観客に笑い感動を届けました。

今回は、もぐらんぴあ・まちなか水族館を題材とした物語。再出発に向けて奮闘する個性的なスタッフや、被災地支援に訪れた子どもたち、一風変わった職人や外国人など、過去最多の30人が出演しました。本市出身の歌手ゆげみわこさんも登場し、劇中歌「海になりたい」を披露。笑いあり感動ありでテンポよく展開したステージは大盛り上がりで、最後は割れんばかりの拍手に包まれました。

作・演出のこむろこうじさんは「お客さんの反応も良好。地域が元気になるきっかけになれば」と笑顔。ギャグを連発するカメラマンを演じた江本英二さんは「震災もあったので少しでも元気を届けようと、みんなで頑張りました」と充実した表情を見せていました。

食べて学び深まる愛着

短角牛給食

地産地消ふれあい給食の日(短角牛)は11月29日、市内小・中学校で行われ、子どもたちが短角牛の味や特徴を学びました。給食会で、生産者の下館進さんから飼育方法なども学んだ小袖凜くん(小袖小4年)は「お肉の味がおいしい!今度は牛も見たいです」と愛着を深めていました。



短角牛のおいしさに満面の笑み



南極のペンギンや、オーロラなどの動画も披露

楽しく貴重な世界満喫

水族館で南極講演会

11月23日、もぐらんぴあ・まちなか水族館で「南極みつけた!講演会」が開催。親子など約50人が南極の世界を満喫しました。南極観測隊として、越冬も経験した朝日新聞社の中山由美さんが講師。中山さんは「南極は不思議で楽しく、貴重な場所。みんなで大切にしてほしい」と呼び掛けました。

医療の進歩に感嘆の声

講演で最新手術を紹介

国保久慈地区協議会の保健活動部会講演会は11月24日、福祉の村で開催。岩手医科大学の佐々木章准教授が「からだに優しい最新の手術」と題して、きずが小さく、体への負担も少ない内視鏡外科手術の特徴などを説明しました。約150人の参加者は、医療技術の進歩に感嘆の声をあげていました。



分かりやすく説明する佐々木准教授



久慈署の中村一雄署長にチラシを手渡す山王会長(左)

安全への願い込め制作

交通安全・防犯チラシ

久慈地区安全運転管理者事業主会(山王敏男会長)は関係団体と協力し、交通安全と防犯を呼び掛けるチラシ1万2千部を制作。11月30日、久慈警察署に交付しました。山王会長は「交通事故を防ぐには多くの協力が必要。運転手はもちろん歩行者にも意識が広がってほしいです」と願っていました。

思いやる大切さを訴え

一日人権擁護委員

県小学生人権書道コンテストで入賞した大川目小学校の室野美沙紀さん(6年)と、田端友賀さん(5年)、西澤友唯さん(同)が12月6日、一日人権擁護委員を務め、人を思いやる大切さを訴えました。3人は「友達を大切に。困った人がいたら声を掛けてあげたいです」と声をそろえていました。



街頭での啓発活動に、積極的に取り組む3人



夢中になって絵を描き進める児童

"好き"描き足して完成

スクールギャラリー作品

小学校を巡回して芸術作品を展示するスクールギャラリーツアー(久慈青年会議所主催)の展示記念作品制作が12月8日、平山小学校で行われました。作品のテーマは磁石。1~3年生約50人は花や動物、家族など、自分の好きなものを次々と紙に描き足して、かわいらしい絵を完成させました。